

本会議での論点および今後のスケジュール

【本会議の論点】

1. **論点1** 「2050年目標、2030年目標について」

※素案 P3～5、P18～19/参考資料 1、2、2別紙

国、都戦略、世界的動向を踏まえて、千代田区として2030年をネイチャーポジティブの実現の目標年としたいため、2030年目標の見直しをした。それに伴い2050年目標についても再検討したため、ご意見を伺いたい。

2. **論点2** 「ネイチャーポジティブの考え方について」

※素案 P19、参考資料 1、2、2別紙

千代田区としてのネイチャーポジティブをどう考えるか、ベースラインをどこにおくのか。

= 「ネイチャーポジティブの実現」はどのような状態を達成したことを示すのか。

= 取組みの努力量（プロセス）をどう評価するか。

3. **論点3** 「社会変革・行動変容の促し方について」

※素案 P27～29

ネイチャーポジティブを実現するためには、生物多様性を意識した行動、生物多様性があらゆる課題解決に活用できることを意識した行動・社会の変革とともに、多様な主体が連携して全員野球で取り組んでいくことが重要。

社会変革をしていくために多様な主体が連携して取り組めること、連携して取り組むために必要な仕組みはなにか。

4. **論点4** 「30by30につながる生態系ネットワークの形成・強化について」

※素案 P6～7、P19～20、参考資料 3

・千代田区は30by30をどのように目指すか。

・どこをどのように強化すべきか、何が活用できるか、どのような主体が関わるべきか。

・区内の街路樹のデータベース化が昨年度完了した。街路樹情報は生態系ネットワーク形成、日射対策など様々な活用可能、どのような活用方法が望まれるか。

5. **論点5** 「主体間連携・施策連携を進める中で、事業をより一層推進するための各主体ができることについて」 ※素案 P3～4、P19、P27～29、P31～36、参考資料 4

自然を生かした解決策（NbS）・脱炭素・サーキュラーエコノミー（循環経済）等の様々な分野、関わる主体が連携して取り組む必要性が国家戦略で協調されており、区が行う取組み、都、企業などの多様な主体と連携する取組みがどういったことが考えられるか議論したい。

○エコロジカルフットプリントの見える化（戦略Ⅱ Ⅱ-2、①(P38)）

○生物多様性を活かした観光（戦略Ⅲ Ⅲ-1、②(P40～41)）

都市×生物多様性をうまく活用した、地域の魅力を生かした、脱炭素・サーキュラーエコノミーも

意識した観光を推進しまちを活性化していくために何が必要か。

○生物多様性の視点を導入したウォークブルまちづくり（戦略Ⅲ Ⅲ-1、④(P42)）

ウォークブルまちづくりを積極的に進めるべき地域、その方法について。

【今後のスケジュール】

令和5年7月 令和5年度第1回 生物多様性推進会議
生物多様性推進プラン改定素案（案）提示

↓（庁内検討・調整）

令和5年10月 令和5年度第2回 生物多様性推進会議
生物多様性推進プラン改定素案提示

↓（庁内検討・調整）

令和6年1月 パブリックコメント実施

↓（パブリックコメント意見反映、改定案の確認）

令和6年3月 生物多様性推進プラン改定